

今回の校外学習は鎌倉・江ノ島ということで、そこで実感したことをまとめた。

鎌倉駅で集合し、出席確認をしたらまず江ノ電に乗って長谷寺へ向かった。そこは、紫陽花(紫や青、白など)が見事で、荘厳な本堂、石段がとても印象的な場所であった。

そこから由比ヶ浜へは歩いて行った。黒い砂浜が広がっており、海水や人の足で踏み固められた砂地とたくさんの貝殻など層状に重なっていったが、特に海に近い方の砂地には貝殻だけでなく海からの漂流物も目立って、海の問題について少し考えさせられた。

最後に行った新江ノ島水族館では、前に個人的に行った際に見られなかったコツメカワウソや深海関連の展示を見られたのでよかった部分もあるが、他はじっくり見ることができなかったのも、改めて時間を作って色々な動物や海洋生物を見て回りたいと思った。

また鎌倉といえば、歴史的な文化背景、街並とサブカルチャーなどの聖地、など幅広い年代に人気があるため、人が集まりやすく、オーバーツーリズムなどの困った問題も抱えていることも実感できた。

これらのことを体感して鎌倉・江ノ島に何度も来ている人の気持ちが少しわかった。都内からの距離や歴史、自然、観光などちょうど良いコンパクトさや充実感などがまた人を呼ぶ魅力なのだろう。

